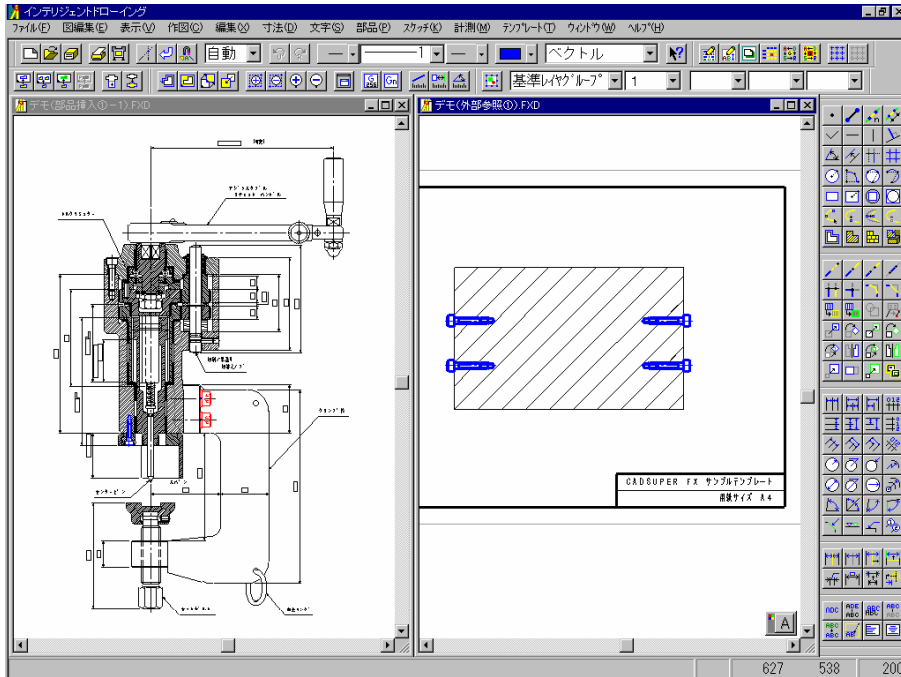


— CAD SUPER FX 外部参照部品 —

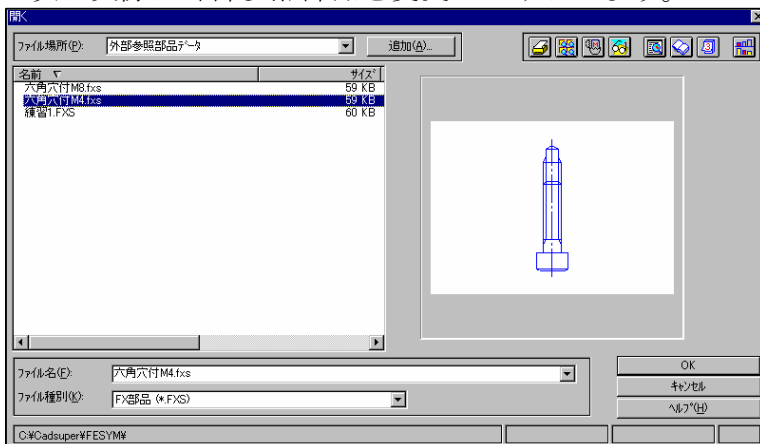
～デモマニュアル～

まず、ファイル2枚（デモ（部品挿入①-1）、デモ（外部参照①））を開いて、ウィンドウ並べて表示する。（任意に拡大する）

2つの図面には、外部参照で配置された同じ部品があります。

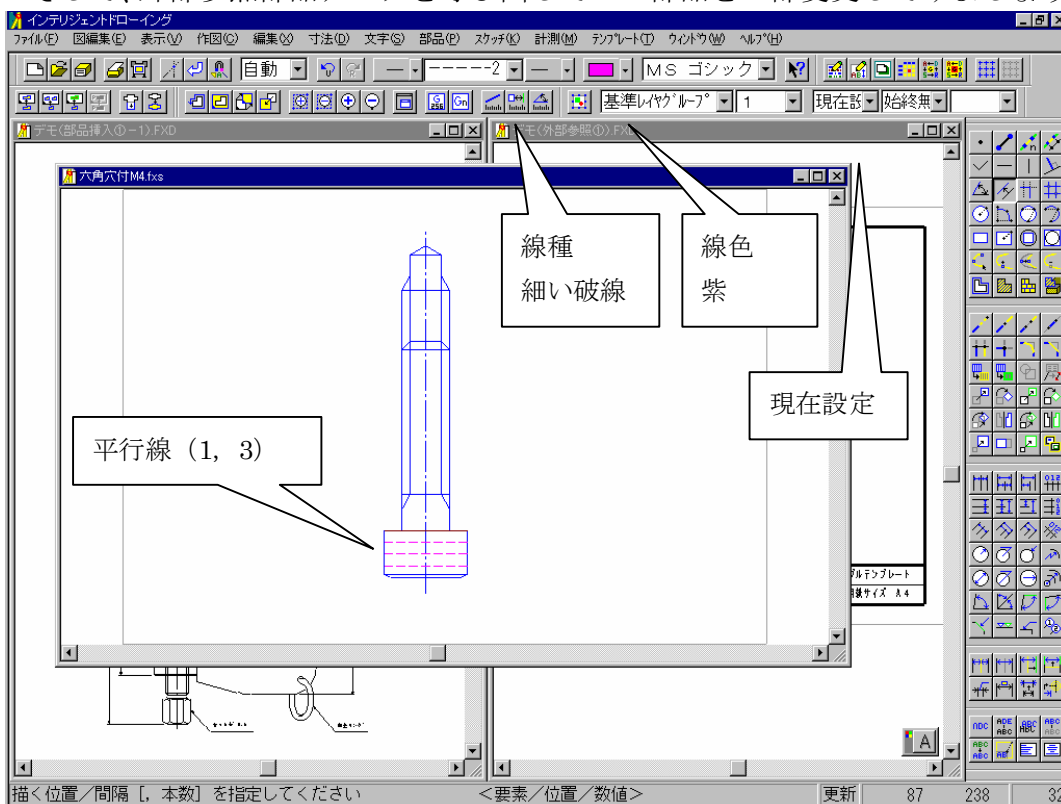


次に実際に外部参照部品を変更してみましょう。



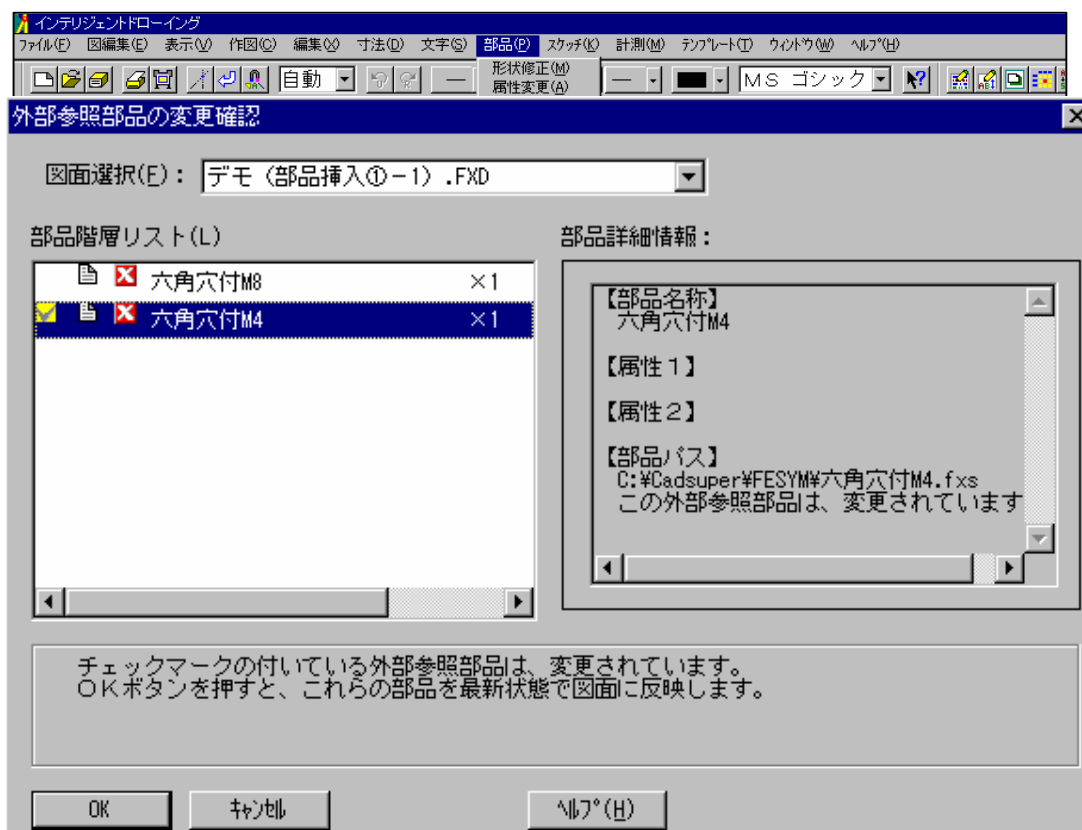
[ファイルー開く] ファイル場所：外部参照部品データ
ファイル名：六角穴付 M4. Fxs

右側と左側の図面には、M4の六角穴付ボルトが配置されています。
 そして、外部参照部品データを読み出してこの部品を一部変更してみましょう。



このように変更してからファイル→上書き保存で登録しておきます。(外部参照部品 (六角穴付 M4) ファイルを最小)

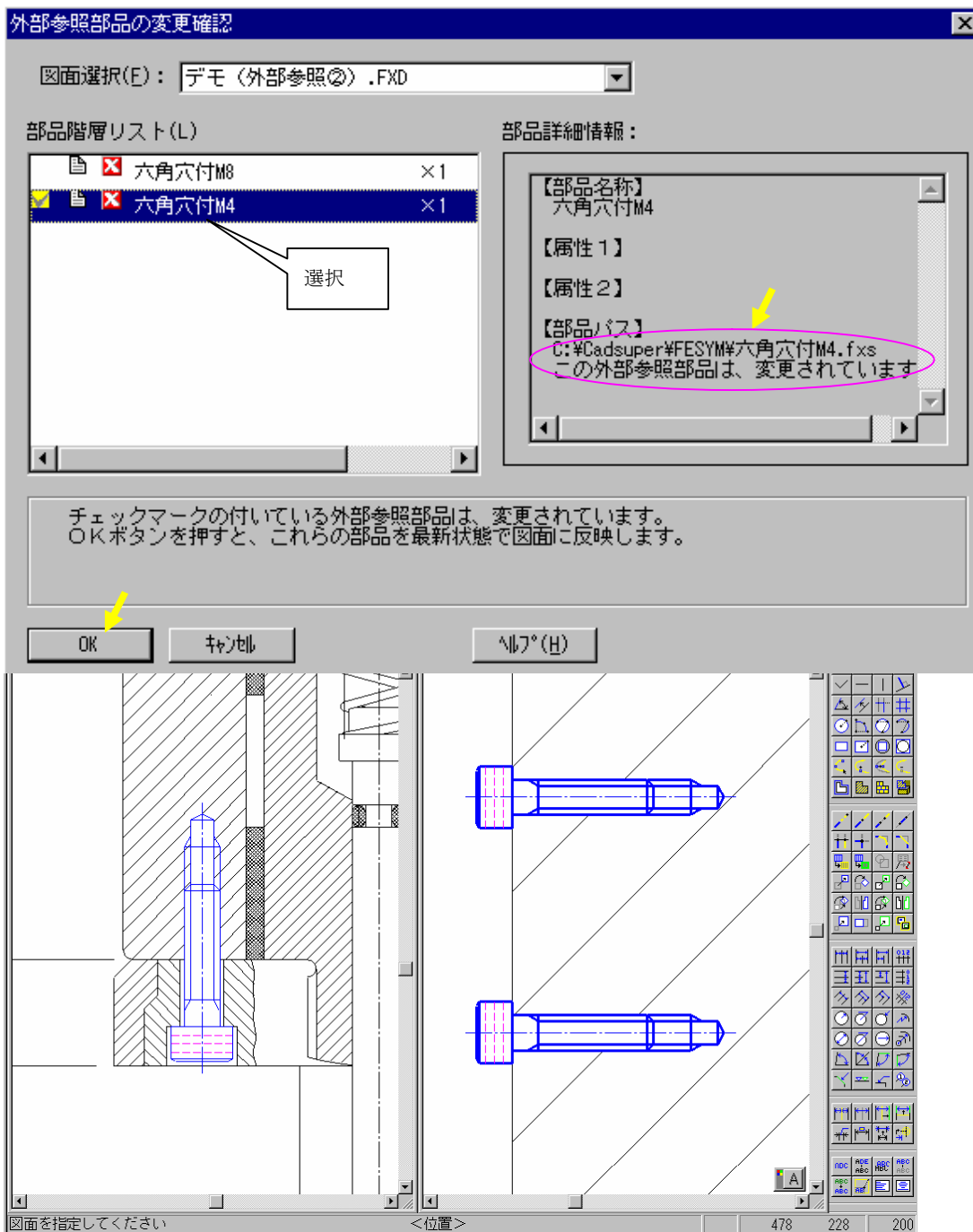
そして、現在開いている図面に対しては、部品→更新コマンドによって、



ご覧の様に瞬時に配置されていた部品が変更したまま、更新されることが確認いただけます。

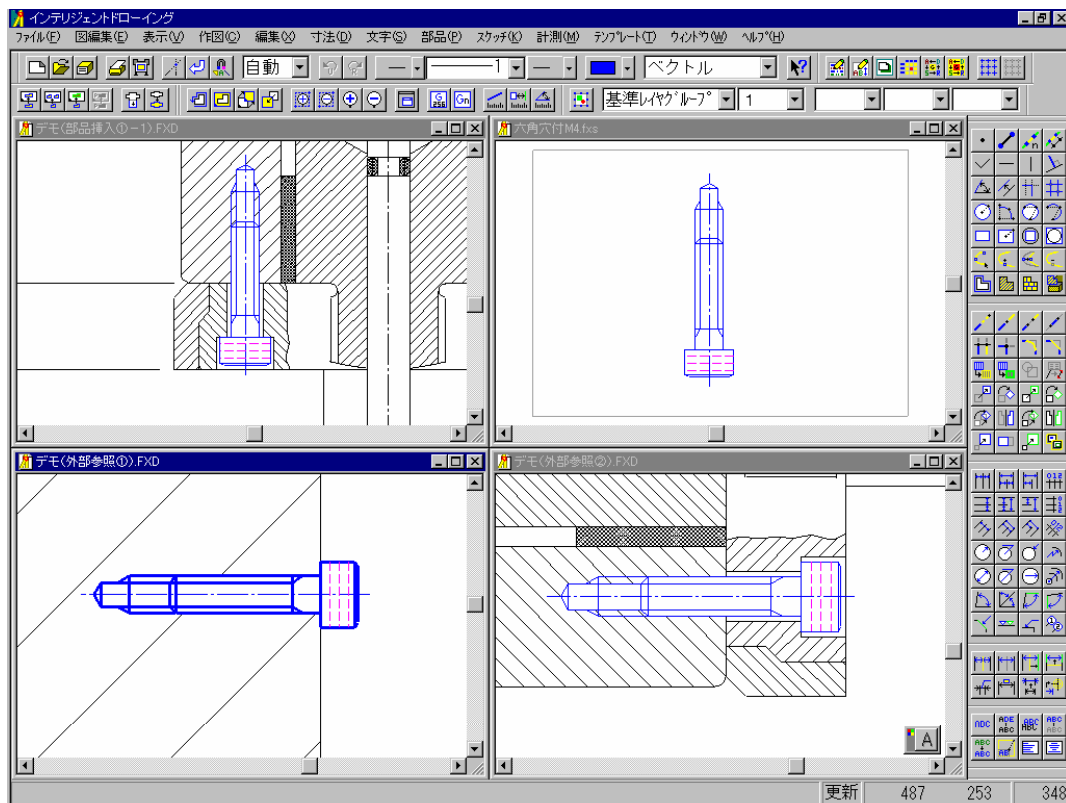
それでは、その他の同じ外部部品が挿入されている図面を呼び出してみましよう。(デモ (外部参照②) ファイルを開く)

この時、外部参照部品の確認ダイアログが表示されるので、



変更確認で OK を指示することにより最新状態で図面に反映されます。

(外部参照部品 (六角穴付 M4) ファイルを開き、最後にウィンドウ並べて表示で 4 枚並べる) (任意に拡大してみる)



同じ部品が同じ個所変更されたことが確認できると思います。